

「学び台湾」プログラム（対象：1年生）

1 ねらい

1年生の早い時期に海外体験をさせ、刺激を与えリーダー育成につなげる。

2 台湾を研修場所とする理由

- ① 台湾と鹿児島・日本は地理的、歴史的にも近い関係にある。鹿児島とは直行便も開設され、現在鹿児島を訪れる外国人の中で台湾からの訪日者が最も多く、最も身近な外国である。
- ② ホームステイの実施等、治安その他安全面からも保護者の同意を得やすい。
- ③ 日本と同じく少子高齢化社会となっており、課題研究のテーマである人口問題についても、現地の高校生や大学生と意見交換をしやすい。
- ④ 観光施設の他、工業団地や日本と縁の深い農業干拓地等の視察等、食・環境・ビジネス・観光の観点からフィールドワークを行える施設が多い。

3 研修日程（7/22最終案）

	27年9月	旅程等	宿泊
1	15日(火)	10:00 鹿児島空港集合 12:20発→台北着 台北市内観光研修	台北ホテル
2	16日(水)	午前中 桃園, 新竹にてICT産業研修 午後 新竹→新幹線等→屏東へ	屏東ホテル
3	17日(木)	学校交流の準備→午後国立屏東大学日本語学科生と交流(人口問題)→池上一郎博士文庫見学→ホームステイ家庭へ	屏東ホームステイ 連泊 2~3人1家庭
4	18日(金)	ホームステイ先から集合し 午前 国立屏東高級中学へ(交流:人口問題) 午後 国立屏東女子高級中学へ(〃)	
5	19日(土)	午前 ホームステイ家庭と過ごす 午後 エコファーム農場体験 夕方 高校生, 大学生とディスカッション	屏東エコファーム
6	20日(日)	台南へ移動 八田与一記念館等研修	台南ホテル
7	21日(月)	台南市内研修 台南市→嘉義→新幹線→桃園	桃園ホテル
8	22日(火)	8:30桃園空港発→11:15鹿児島空港着 解散	

4 経費（7/22最終）

1人当たり240,000円（航空運賃等9.7万 現地活動費等14.3万円）

パスポート取得代、海外旅行保険、スーツケース等の費用は含まない。

7 事前学習

夏季補習中の午後を使って、以下のような準備を進めている。

- (1) 課題研究のテーマである人口問題について、日本と台湾を比較しながら学習し、台湾の大学生や高校生とのディスカッションに備える。

(2) 事前学習講座の受講

日	講座名	講師
7/22 水	アジア経済概論	芝田浩二様 ANAホールディングス執行役員 (27期)
7/23 木	台湾社会概論	山田怡如様 県台湾蓬莱会代表
7/24 金	中国語初級①	後田栄子様 iBS外語学院講師
7/27 月	台湾経済概論	萩原 豪様 高崎商科大学商学部准教授
7/28 火	コミュニケーション論	南 徹様 iBS外語学院院長 (20期)
7/30 木	英語コミュニケーション演習	オックスフォード大学院生他
8/19 水	中国語初級②	後田栄子様 iBS外語学院講師
8/29 水	台湾史	本校教諭



芝田さんのアジア経済概論

後田さんの中国語講座①

